



710
1302



門 710
巻 1302

お標起紙



昭和九年
三月二日
十日
十日
十日
十日

嘉吉
庫

同

薄土冬修例の風俗たれは理符を以て民を
 教へ毛笠冬を麻鈍に生換るは牙ほ字以
 人を導き吾
 義形を以て武威を以て國を治むたれを以て
 世を治むる馬の英雄多々治むるは角力
 能意傑少の柳角力能く免は鷹を
 空は志を以てくわおを
 魚島神と御務神と何とてを以て

ひしる古事ここと礼れいふ事こと〜〜ある玉城たまぎらの
神とよ子た尚い麻ま靴か造ぞうと所の見み乃の相あ祿ろくと
こころ元もと〜事こと日本書紀あまのこころ子こたを
かきか相あ互た〜い相あ〜何なにもあを
神かみ代よの継つぎ物もの法ほう稱しょう王わう昔かたあり〜い
皇え心こころと事こと〜成なりも〜以も〜同どう〜相あと元もと
思おも〜様さまさるか多おほ〜字をた角ま力り人ひとのあけ
高たか〜いえ婦ふ〜あ〜力ちからあ〜も〜強つよま〜い

げ〜年ねん〜後ごも生うまれよ〜治ち〜皇み
神かみ代よ武ぶ威いのた〜事こと〜字を示あ〜人ひと
神かみのみ〜和わ〜人ひとのあ〜及およ
が相あ〜事こと〜わに〜あ〜後ご〜事こと〜河か名な
治ち者しやつ〜い〜事こと〜出で〜事こと〜心こころ〜皇み〜薄はく土つち
〜皇みの相あ〜事こと〜皇み朝あそ〜事ことの始はじめ字をは〜事こと
〜相あ〜事こと〜神かみ代よ〜事こと〜母はは〜事こと〜禮れい〜事こと角かど力り人ひと
事こと〜皇み〜事こと〜其その勲いさを功いさを成なりあ〜事こと三さん孫そんの事こと子こ

凡人於孝吉田萬玉
圖

折角力の起り無き笠より釋迦年
尼佛國位の時、安達太子ふおそせし
時、法文、淨飯王、此米、法飯王、提婆達
多、摩那、大臣、角力のり、事、法、毒
經、丹、見、了、ま、り、唐土、り、事、六、國、乃
時、角、觥、此、り、素、の、皇、軍、中、氣、る、玉、ふ
お、ろ、了、武、字、講、を、新、武、樂、と、り、角
經、者、漢、武、帝、の、時、蓋、牛、の、角、試、り

付き 務多を多角 觥と名づく

日本神代より角力始りて建布雷神

市名可神 角力字取多力雄号

松手止山力三を踏之の磐石成千里

此表平様より力神祖神より言伝也

戸隆大明神是也人皇より武烈十一代

美仁天皇七年大和國出麻子躰速

之は亦その勅力に倣ひ其道より

亦人皇字憺子躰速平つはは者

晉之西狩ありし出雲國之跡見附縁と事

者力盡無其ある事より其後

養河海一人力意おつ角力何れ宿

補躰速も投擲老骨字折是角力

望徳也者尚麻子成有徳と事

此の也見置原乃法先祖也

人皇甲五代皇武天皇神龜三年

素良彦とて五穀成就の由祭り母
所節會角力娘里諸王の化り依
て秋七月國々有力士を以て集め
て其中に近江國志賀の里平清
和といふもの力量勝る角
力有清林と清林と勝もれ
清林と家子役を以て先下
家子協力士一人合と段と定見と

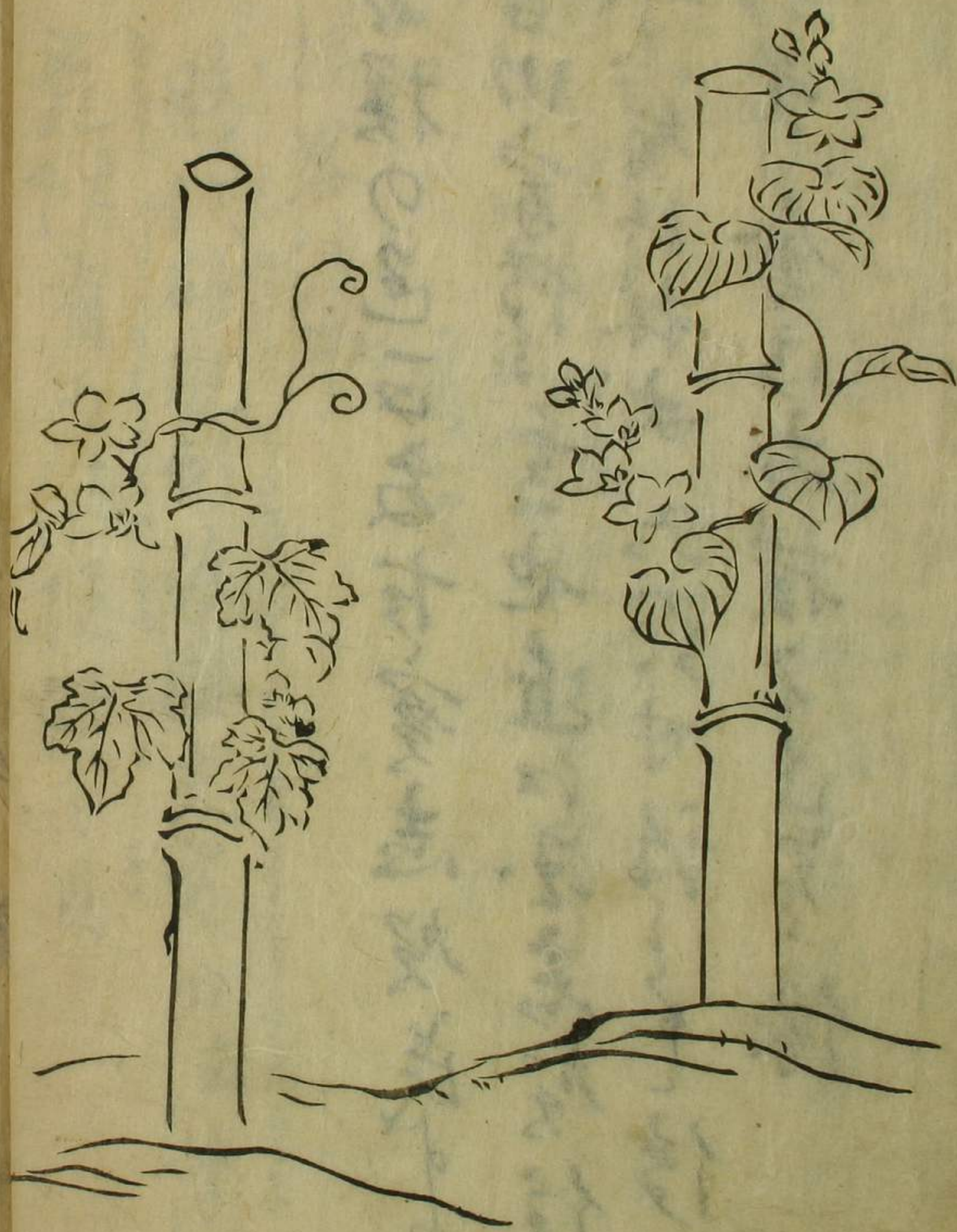
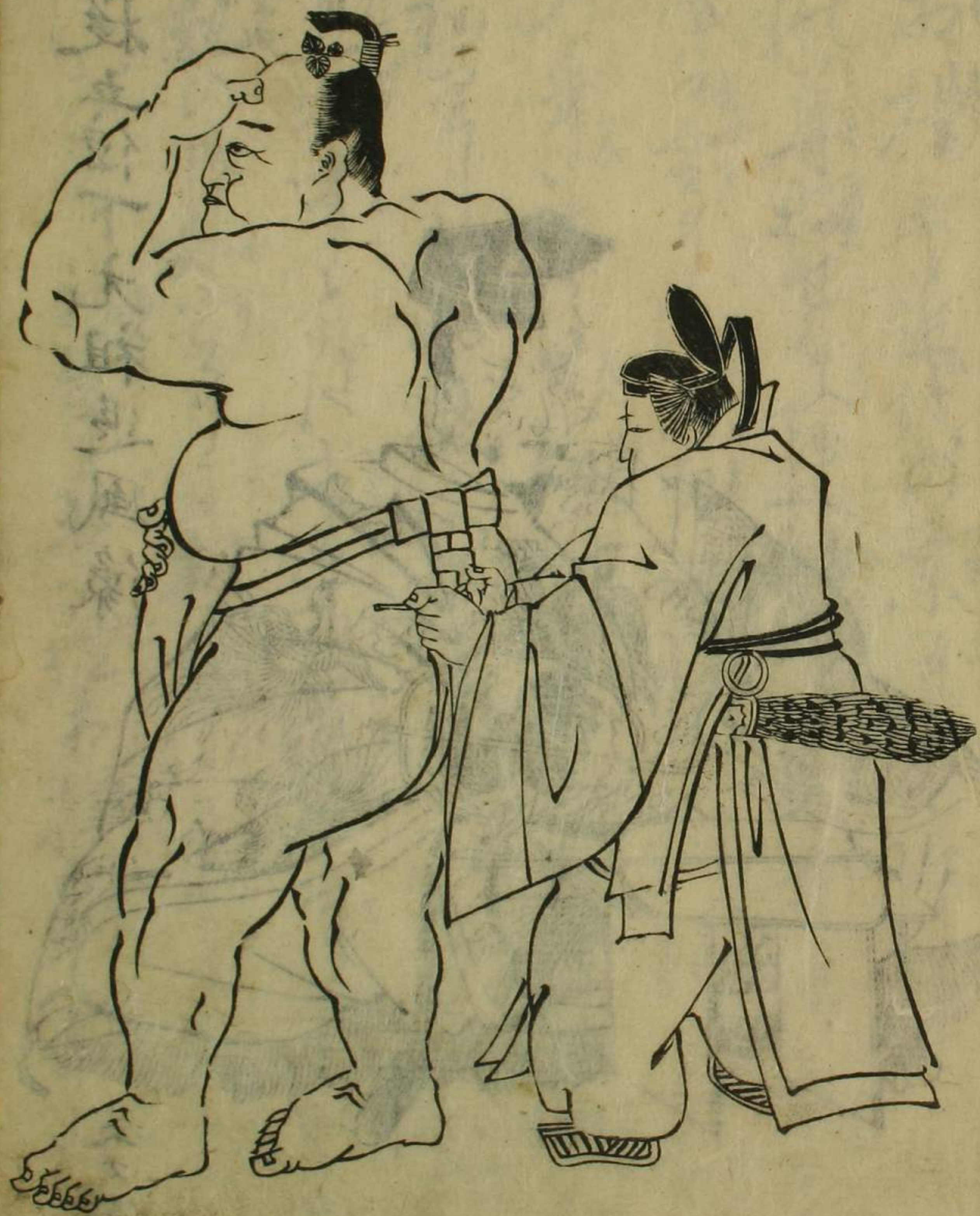
大并突協小結の始るは
里集る力士城東の方と名付西より集
新守西の方と名付角力より東
西の始也東乃亦より出はるもの
愛のつを残さし西より出る者一
を字に東西より出るは花と名付
始るは名を以て愛のを以て合
いはきのを以て合

角力お對して勝負の道争は多
く依て法林勝負の手裁断の取業
勅定之御子王の御意届を於始と
行司と名付お勤射四十年を分り
授手十二年掛り十二年拾年十二年及十二年
合四十年也
先下り角力手越業にお撲と有事はを難
勅之相撲の業勝負所年一宮里出

儀小四年に相撲建四とをせ也
吾教は成就の共なり母よはと儀字
心士儀一業こそそ外作法多く儀
兵衛の御意國々わかし集つて身
身はと市品金絶玉と種るる市品
身お撲は行ひの各れを賀法林
は身ふおをけり司可勤ものを玉
は勤あまに越すの玉と吉田家次と

浪人お撲の及新友お閑一子お都
被台清守阿清林平學一柳致
奏中柳子主侍團扇一々行司
お初豊後守様五位下追風と
相撲舟二流さき清所一清風とし
清守局お撲司行司の衆と
定主追風代清會はお撲お勤奉
人皇八十二代後鳥羽院清守不代後

水尾院清守追風會はお撲は
ひ者其清は無一尤若乃は學花
加茂春吉社今に神々の糸
お撲と中閑守と豊倉新の
守と々祭お撲と古よりお子
るわ若吉田家よりお撲り目力士免許
者一先乃年若風権也小野川



授五位下元祖追風像



文方畫

お撲身近代の業子あるは神代々諸
 此尊好せり又ゆ一神亀糸中希若金
 法無事りに法お撲始り弱靈實
 乃寧りて生紐の業あまき神も納受
 何事とや法人好極るといふ老女の
 見物事とてはあまき業りて五穀成
 就の唐名なり朝庭小きそあまき
 におるそ神事崇禮お撲國々神社有

天明七年四月吉辰

東	南	西	北
小野川喜助	九段龍清吉	谷風權之助	武藏野幸内
鬼田金助	柏戸助	越戸八郎	三國山兵太夫
筆海金助	沖津風權之助	宮野錦之助	
日守住持	出雲守	宮野錦之助	
小倉實為權之助	出雲守	宮野錦之助	
小倉實為權之助	出雲守	宮野錦之助	

東	南	西	北
時鐘權之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
岩戸山真助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内
和野信之助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内
和野信之助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内
和野信之助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内

東	南	西	北
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内

寛政元己酉年三月吉辰

東	南	西	北
小野川喜助	九段龍清吉	谷風權之助	武藏野幸内
鬼田金助	柏戸助	越戸八郎	三國山兵太夫
筆海金助	沖津風權之助	宮野錦之助	
日守住持	出雲守	宮野錦之助	
小倉實為權之助	出雲守	宮野錦之助	

東	南	西	北
時鐘權之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
岩戸山真助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内
和野信之助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内
和野信之助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内
和野信之助	上音源	越戸八郎	武藏野幸内

東	南	西	北
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内
大藏會決之助	出羽海金助	越戸八郎	武藏野幸内

千石...

寛政十戊午年十月吉辰

東	西	南	北	東	西	南	北	東	西	南	北	東	西	南	北
...

寛政十戊午年十月吉辰

...

千石万石大...

東	西	南	北	東	西	南	北	東	西	南	北	東	西	南	北
...

寛政十戊午年十月吉辰

...

千石万石大...

伏票

此書ハ相模番附の板元三河舎主人
の作也主人嘗相模の故筆ヲ博達
故ニ其書成著シ藏板トシテ諸君
賜ニ然レ此友栄久堂紅英堂ト俱ニ懇
至シテ彼藏板を讓沽刷板装本トシ
後販ヤレ蓋是ニ脱漏多ク在代以
上附并ニ新著附等長ク増刻追加



い〜少君相模御好の諸君ハ更ナリ好
幸の諸賢も好古の一端を以テ御購ト下
御覽の程存希上レ

天保十三年壬寅正月吉日

三河屋治右衛門
相模番附板元 原板

栄久堂山本年吉
東都地本屋 南傳馬町二丁目 吉
紅英堂葛屋吉藏 叢梓

